

カーテンレール(金属製)の試験



一般財団法人

日本建築総合試験所

金属製カーテンレールおよび構成部品について以下の品質を確認する試験です。

レールのたわみ試験とは

レールに鉛直荷重を加え、レールのたわみ量が使用上支障のない範囲内であることを確認する試験です。

ランナー強さ試験とは

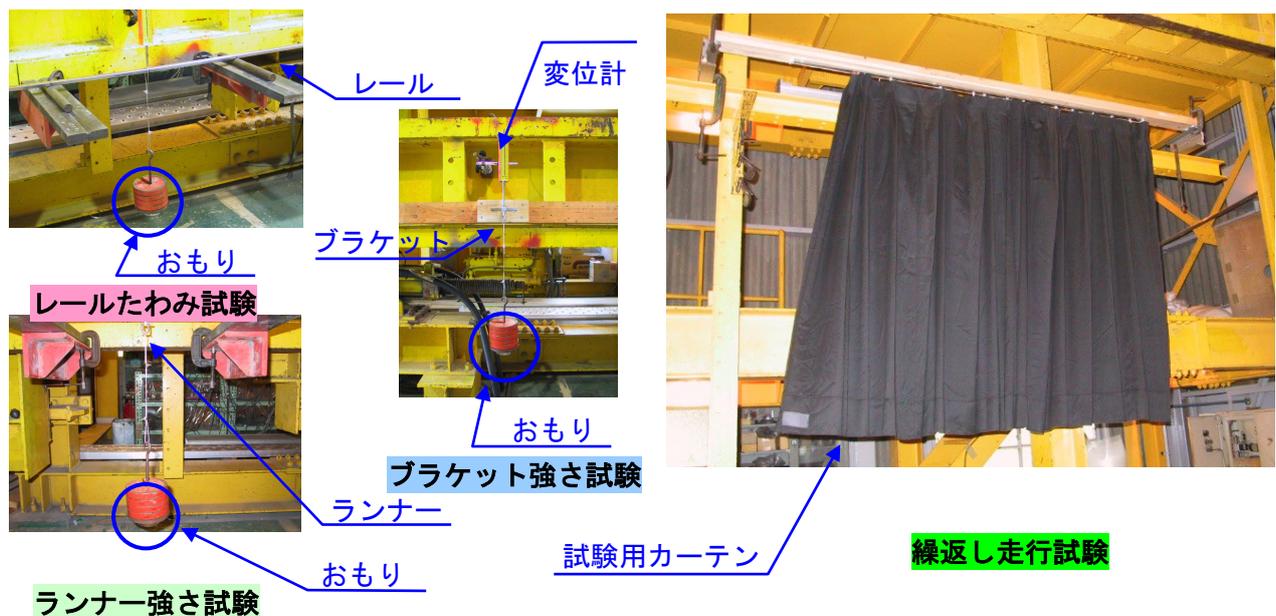
レールに設置されるランナーに鉛直荷重を加えた後、ランナーの変形を確認する試験です。

ブラケット強さ試験とは

ブラケットに鉛直荷重を加え、ブラケットのたわみ量が使用上支障のない範囲内であることやブラケットの破損の有無を確認する試験です。

繰返し走行試験とは

レールに所定のカーテンを吊るした状態で繰返し走行し、支障なく走行することを確認する試験です。



JIS A 4802 では、以下のように規定されています(シングルレールの場合)。

試験名	加える荷重	性能
レールたわみ試験	49N(5kgf)	レールのたわみ量が5mm以下。
ランナー強さ試験	49N(5kgf)	ランナーに変形があってはならない。
ブラケット強さ試験	初期荷重 9.8N(1kgf) 追加荷重 49N(5kgf)	ブラケットに破損がなくかつ たわみ量が2mm以下。
繰返し走行試験	5kgf (試験用カーテンの質量)	試験中支障なく走行することかつ 動き出す荷重が1kgf以下。

【関連規格】 JIS A 4802 「カーテンレール(金属製)」

【試験体】 金属製カーテンレール, ランナー, ブラケット(シングルブラケット, ダブルブラケット)